

3月のえんだより

～笑顔あふれる
育ちのひろば～
令和8(2026)年3月26日
社会福祉法人 見真会 明光保育園

暖かい日差しに誘われて、桜の花が見ごろを迎える季節となりました。
園では、「笑顔あふれる育ちのひろば」を保育理念に掲げ、子どもたちの思いや声に寄り添った日常の保育を大切に、子どもを真ん中に置いた、子どもが主体的に行動できる保育の実践と、乳幼児期からの養護と教育が一体となった10の学習支援体制を、保育士の専門性を活かして取り組み、豊かな経験を育んできました。
そして、3月28日(土)には、白組の元気な20人が園を飛び出して、小学生として巣立っていきます。

今年度の運動会や発表会では、『平和』をテーマに思いを込めて、子どもたちは仲間と話し、考え、創作し、みんなで協力して挑戦し、仲間との絆を深めてきました。
また、一人ひとりの個性が輝くよう、子どもたちの『したい、やりたい、できる、できた』を日々の保育活動、園外活動、行事活動、食育活動などで表現することで、子どもたちに笑顔の輪が広がりました。
さらに、仲間を思いやり、人を大切にする心を育み、自分を大切にすることを学び、自分自身の身近な平和について、今できること、大事にしたいこと、やってみたいことを真っすぐな気持ちで考えることができるように成長してきました。

4月から『笑顔あふれる 育ちのひろば』を保育理念に、子どもたちの最善の利益を守るべく子どもを真ん中においた保育の実践に向けて、子ども一人ひとりの人権を大切に、安心、安全な保育環境の提供と、保育計画に基づいた養護と10の学習支援をとおして、知識、経験の中から、思考力、判断力、表現力などを磨き、人を思いやり、自分も大切にできる豊かな人間性と生きる力の基礎を育んでいきます。
保護者の方々には、引き続き、子どもたちの保育活動、日々の感染症の防止対策などへのご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

～創作作品展～

今年度、子どもたちが、創作支援活動やクラス保育活動の中で、季節折々の壁面や飾り物、生活発表会の舞台セット、知育玩具などを使って、一人ひとりが考え、工夫し、イメージを膨らませ、楽しみながら創作活動を行い、作品として表現しました。
子どもたちは、自分の内面から湧き上がるイメージや感情を色や形として自由に表現することで、豊かな個性や表現力が育まれ、次への創作意欲につながってきています。
目標を持って制作に取り組み、自分の力で完成させる経験は、大きな喜びと満足感、達成感を得て、自分はやればできるんだ!!という自信の源にもなっています。
子どもたちが、失敗を恐れずに挑戦し、試行錯誤を楽しみながら目標に向かう力は、新たな活動への意欲や知的な好奇心へもつながっています。



～土曜日は卒園式～

(10:00～ 織田幹雄スクエア)

3月28日(土)は令和7年度の卒園式です。

今年度は白組20名の園児が卒園を迎えます。
「思いやり 助け合い 行動する」をクラス目標に、『仲間を思いやり、目標に向かい、挑戦・協力し、やり遂げられる子ども』を目指して、互いに助け合いながら、考え、話し合いながら、諦めずに色々なことへ挑戦し、経験や自信をとおして、生きる力の基礎を育みました。

仲間とともに、一つひとつ乗り越えた達成感や充実感が、子どもたちの小学校での学びや運動、友だちづくりにも結び付いていくことを願っています。

職員は誰もが、これからも、白組20名の子どもたちの成長を温かく見守り、輝く未来に向けて無限の力を発揮できることを応援していきます。



3月3日はひな祭り、桃の節句です。
青組に立派な7段飾りを飾り、子どもたちが作った色とりどりの雛人形を囲んで、健やかな成長と幸せを願いました。給食では、ちらし寿司や桜餅を食べて、伝統行事に笑顔があふれました。

☆☆☆ いのちの日 ☆☆☆

平成23(2011)年3月11日に発生した東日本大震災を忘れず、自然の偉大さを知り、命の大切さを再認識する日です。命の尊さを思い、命の大切さを考え、震災で学んだことを風化させることなく、災害に備えることが大切です。
園では、地震や火災の避難訓練の中で、自分の身を守るために何をすべきか、どう行動すべきかを考え実践することで、防災への意識を高めています。

日	月	火	水	木	金	土
3月22日	23	24 体操のひろば (青・黄組)	25	26乳児クラス 生活発表会 卒園式の練習 (白組)	27 白組のみんなとの お別れ会	28 卒園式 (白組)
29 休日保育	30	31 白組のみんな 卒園	4月1日 卯月(うづき) 調整会議	2 幼児会議	3 乳児会議	4 入園式 (新入園児)
5 24節氣の 清明 休日保育	6 体操のひろば (青・黄組)	7	8	9	10 進級式	11
12 休日保育	13	14 体操のひろば (白・桃組)	15	16 避難訓練 (火災)	17	18
19 休日保育	20 24節氣の 穀雨	21 体操のひろば (白・桃組)	22 4月の 誕生日会	23	24	25 1周年記念 イベント

子どもの姿と子どもの育ち（園児101人）

～笑顔あふれ、元気に育つ～ ひよこ組 【0歳児 9人】担任：金井

「笑顔あふれ、元気に育つ」を目標に、個々に寄り添い、子どもの欲求に丁寧に応答し、子どもの気持ちを受け止め、信頼関係を深める保育を行って来ました。

入園した初めは涙が出ていたこともあります。保育士が個々の生活リズムを整えることで、子どもたちは毎日、生き生きと笑ったり、泣いたり、声や指差し、表情で自分の気持ちや欲求を表現できるようになりました。

絵本を読み聞かせたり、歌を歌うと、指を差したり手を叩いたり、身体を揺らして、一人ひとりがそれぞれの方法で楽しさを表現できるようになりました。

一人ひとりの思いや欲求を受け止めることで、子どもたちと職員との間の信頼が育まれ、深い愛着関係が心の成長の土台となっています。

進級に向けては、愛着関係の下で周りの人や物への興味や好奇心を育み、自分の思いを身体や言葉で表現できるように支援していきます。



～したい やりたい やってみる～ 黄組 【3歳児 19人】担任：松本 副担任：倉留

クラス運営目標の「したい やりたい やってみる」に向け、様々なことに興味を持つための機会を設けて、挑戦から意欲、行動へと子どもたちの力を育ててきました。

創作作品展では自分のイメージを形にして表現することができました。共同製作や仲間との関わりの中で自分を大切にしつつ、一人ひとりが個性を発揮するためには相手を思いやる気持ちとルールが必要なことを知りました。

このことは、日々の保育活動でも、困っている仲間がいたら「どうしたの？」と声を掛けたり、困っている仲間を助けたり、知っていることを互いに伝えあったり、みんなのためにトイレのスリッパをそろたりと、少しずつみんなのことを考え思いやりを持った行動ができるようになってきました。

進級に向けては育ちつつある「相手の思いに気付こうとする心」と、小さな「気付き、なぜ、なに」を大切に自分も相手も互いに尊重し合えるよう支援していきます。



～自分の思い、いっぱい育む～ 赤組 【1歳児 16人】担任：奥崎 副担任：山崎

「自分の思い、いっぱい育む」を目標に一人ひとりの子どもたちの”ありのままの姿”を認め、欲求を受け止めて、思いを満たすことで、信頼関係を築き、一人ひとりが、自分の気持ちを出し、安心して過ごすことができました。

子どもたちの安全を確保して、やってみたいことをやったり、行きたいところを探索したりできる環境を整え、”やってみたい”思いを実現させてきました。

また、散歩などで身近な自然や物に触れたり、玄関の野菜や花の水やりや土触りなどの興味のあることを一緒に楽しみ、驚きや発見を共有し、伸び伸びとした活動につなげました。

子どもたちは、身近な人や物への興味が広がり、他児の名前を呼んだり、一緒に遊んだり、自分で発見したことを保育士に知らせたり、自分の思いを言葉で伝えようとすることも多くなりました。排泄や着脱、食事など身の回りのことを自分でやってみようとする意欲も育ってきています。

進級に向けても、愛着関係を大切にしながら、欲求を受け止め、思いに寄り添う支援をしていきます。

～みんなつながり、思い広がる～ 青組 【4歳児 21人】担任：蒲生 副担任：乃美

「みんなつながり 思い広がる」を目標に仲間の一人として個性を生かしながら生き生きと行動し、自分の思いを言葉や身体、音楽、製作で表現できる子どもとなるよう、一人ひとりの挑戦する心を育み、多くのものに触れたり観察することで興味や関心を広めたり、高める支援をしてきました。

創作作品展では、みんなで意見を出し合い「海賊船を作ろう」「大きい宝箱を作ってみんなで入ったら？」など様々な意見を出し合い、クラス全員が同じ目的に向かって協力して取り組むことができるようになりました。

「みんなでやるから楽しい」などの仲間意識も高まり、仲間を応援し、助け合うことで安心して挑戦できたり、自分の思いを伝え合うなど、チームとして大きく成長しました。

子どもたち一人ひとりの好きなことや得意なことを生かしながら、様々な経験をする中で自信を育み、自己肯定感が高まっていくよう支援していきます。



～明るく、伸び伸び、自分らしく～

【桃組 2歳児 16人】担任：栗林 副担任：森戸

「明るく、伸び伸び、自分らしく」を保育目標に「自分らしく自分の思いを表現できる」子どもを目指し、様々な経験をとおして感性を育てていく支援をしてきました。

子どもたちの元気で明るい声が園内に響き渡り、全身を使って遊び、毎日、生き生きと生活しています。

日々の小さな気付きや感じたことを受け止めて言葉にしたり、「やってみたい」気持ちを大切にすることで、自分の思いや感情に気付いて、自分なりの方法で思いを表現しようとしたり、身の回りのことに興味を持って取り組もうとする意欲が育ってきました。

歌や楽器遊び、劇遊びをする中で、思い思いの音を出したり、身体や表情を使って感じ取ったものを自分なりに表現しようとするようになってきました。

安全で安心できる環境や、保育士、他児との関わりの中で五感を使った体験や様々な活動をとおして、子どもたちの心の安定につながり、感性が伸び伸びと育ち、表現する楽しさを感じ、表現力が豊かになりました。

進級する黄組では、ごっこ遊びを充実したり、園外活動をとおして、好奇心や想像力を広げ、一人ひとりの感性を育み自信と期待を持って、一日一日が送れる保育を進めます。



～思いやり、助け合い、行動する～ 白組 【5歳児 20人】担任：今田 副担任：相原

「思いやり、助け合い、行動する」を目標に「仲間を思いやり、目標に向かい、挑戦・協力し、やり遂げられる」子どもを目指して保育を行って来ました。

グループ活動を中心に話し合ったり、意見を出し合ったりする中で、まとまらなかったり、けんかになることもありましたが、一つひとつの行事が成功するたびに、協力することの大切さを感じるようになりました。

目標に向かって何事にも挑戦し、最後までやり遂げた様々な体験の中で、できた嬉しさや、できない悔しさを活かして次につなげる方法を自分たちで試行錯誤をしてきました。

一人ひとりが自分の力を信じ、仲間の思いに寄り添い話し合い、仲間を思いやり、絆を深めながら成長してきました。

卒園に向けては「あと〇日したらみんなとお別れするんだよね」などと不安を抱えながらも、小学校への期待と希望に満ち、一人ひとりが個性豊かに自分らしく持っている能力や才能を発揮する力が育まれています。

小学校でも仲間を思いやり、夢に向かって挑戦し続けることを願い、応援していきます。